

《設置趣旨》

- 自然災害に係る防災対策に関する調査研究については、理学、工学、社会科学等の各分野において、各省庁、独立行政法人、大学、民間等の様々な主体により実施。
- しかしながら、このような防災対策に関する調査研究について、どこで、誰が、どのような研究を実施しているか、集約・整理されていない。

課題

各調査研究の連携・調整が不十分

防災対策のニーズと調査研究のマッチングがなされていない

調査研究成果の防災対策への反映が不十分

何に重点を置くのか等、今後の方向性が不明確

これらの課題を解決するため、

- 情報の集約・整理・共有化
- 各調査研究における連携・調整
- 調査研究の方向性の明示

を行う仕組みを構築し、防災対策に関する調査研究を効率的、効果的、戦略的に推進していくことが必要

防災関連調査研究の戦略的推進WGの設置

※本WGは、常設の組織とする

《WGの役割》

○調査研究に関する情報の集約・整理・共有化

- ・主要学会等の協力を得て、大学等で行われている防災対策に関する調査研究を集約したポータルサイトを作成(情報共有化により各調査研究の連携、調整を促進)

○防災対策ニーズと調査研究のマッチング

- ・各主体における調査研究の実施状況と防災対策のニーズ把握
- ・重要テーマの設定及び各テーマにおける今後の調査研究の方向性の明示

○フォローアップの実施

- ・調査研究成果の防災対策への反映状況の把握
- ・特に重要な調査研究については、定期的に実施状況を取りまとめ、中央防災会議・防災対策実行会議に報告

《WGの体制》

- 理学、工学、社会科学等の分野を専門とし、防災対策に関する知見が深い民間有識者及び関係府省等にて構成。

《スケジュール》

- 今秋を目途に、第1回WGを開催予定(年度内3回程度開催予定)。